平成２７年度　十日町市・中魚沼郡国語部会　活動報告

部長　市川　綾子

１　研究主題

児童が意欲的に参加できる授業づくり

２　研究の概要

県の最重要課題である確かな学力の育成のため、日々の授業改善が求められている。平成２７年度は前年度に引き続き、「授業で学ぶ」ことを重点に掲げ、３回の授業研究会を実施した。３回の授業研究会のうち、２回は小学校、１回は中学校で行い、小中連携強化も視野に入れて取り組んだ。

また、授業改善を進めていくためのより具体的な手立てを獲得するために、「授業で学ぶ」に先駆けて、上越教育大学から講師を招いての講演会を行った。

３　研究の実際

８月２１日（金）　講演会　　会場：十日町小学校
- 演　　題：児童生徒が意欲的に参加できる国語の授業づくり　～論理的思考を促す授業づくり～
- 講　　師：上越教育大学　准教授　　古閑　晶子　様

９月　８日（火）　授業研究会①　市授業力向上研修会　　会場：十日町小学校
- 師範授業　６年「生き物はつながりの中に」
- 指 導 者：講師　筑波大附属小学校　　白石　範孝　様

１０月　６日（火）　授業研究会②　　会場：松之山小学校
- 公開授業：５年　「トロッコ電車で行く黒部峡谷」
- 授 業 者：池田　由美　教諭
- 指 導 者：中越教育事務所指導主事　　吉井　純子　様

１１月２７日（金）　授業研究会③　　会場：十日町小学校
- 公開授業：４年「劇団スカイキッズ公演第２弾へようこそ　劇『ごんぎつね』」
- 授 業 者：大淵　利枝子　教諭
- 指 導 者：十日町市教育センター嘱託指導主事　高橋　政子　様

４　成果と課題

（１）３回の授業研究会から、小中学校の指導方法の違いやそのよさ、小中一貫教育の視点での成果や課題を国語部員で共有することができた。

（２）古閑晶子上越教育大学准教授の講演では、論理的思考を促す授業づくりの具体的な授業実践を紹介していただき、日々の授業改善の大切さを改めて実感することができた。また、演習では、「ワールドカフェ方式」により研究テーマに関わる情報交換を行った。具体的な方策や新たな気付きを見いだすことができた。

（３）国語科における主体的・協働的な問題解決的な学習であるアクティブ・ラーニングの具体化を推進していくことが今後の課題である。当該単元で付けたい国語の能力を子どもたちに確実に身に付けるために、子どもたちの主体的な思考・判断が生かされる課題解決の過程となるよう、言語活動を単元全体を通して一貫したものとして位置付けていく必要がある。